

ワグネル・ソサイエティー・ OBオーケストラ

第79回定期演奏会

指揮

角田鋼亮

ワーグナー
舞台神聖祝典劇「パルジファル」より
「前奏曲」「聖金曜日の音楽」

R.シュトラウス
交響詩
「ティル=オイレンシュピーゲルの愉快な悪戯」

ブラームス
交響曲第1番ハ短調

2016年1月30日(土)

14:00開演(開場13:30)

ミューザ川崎シンフォニーホール

JR川崎駅下車徒歩3分、京急川崎駅下車徒歩3分

全席自由 ¥2,000

チケット扱い、ミューザ川崎シンフォニーホールチケットカウンター
チケットぴあ (Pコード: 279-140)

お問合せ先 演奏会マネージャー TEL.090-8011-6063

WSOホームページ <http://www.wagner-ob.jp>

WSOメールアドレス office@wagner-ob.jp



ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ

“慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ”の出身者が中心となって1974年に設立、同年冬に第1回演奏会を開催して以来、毎年1〜2回の演奏会を行っている。最近のレパートリーは、ハイドン、ベートーヴェン等の古典から、ブルックナー、マーラー等の後期ロマン派、フランス・アメリカ近現代音楽、 Hindemith、 Kodály 等の異色作品まで幅広い。設立当初は長年にわたって慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラの常任指揮者を務めた東京芸術大学名誉教授、故・中山富士雄氏の薫陶を受けたが、その後は常任指揮者をおかず、演奏会ごとに様々な指揮者の指導のもとに活動をしている。これまで定期公演では中山富士雄、團伊玖磨、山本七雄、ロバート・ライカー、朝比奈千足、斎藤純一郎、飯森範親、三原明人、藤崎凡、新田ユリ、飛永信康、新通英洋、鈴木清三、中川賢一、矢崎彦太郎、大塚正昭、川本貢司、田久保裕一、横島勝人、武藤英明、小泉和裕、山田和樹、角田鋼亮、本名徹次、寺岡清高、井崎正浩、松尾葉子、飯守泰次郎、大山平一郎、金洪才の各氏に指揮をお願いした(初出演年代順)。

定期演奏会の他にも他合唱団体との特別演奏会、(社)日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)の加盟団体として連盟主催行事への有志参加など、意欲的な演奏活動を続けている。



角田鋼亮 指揮 Kosuke Tsunoda

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクールでも2位入賞を果たした。2010年、第3回マーラー指揮コンクールでは最終の6人に残った。

これまで共演したオーケストラはコンツェルトハウスオーケストラ・ベルリン、ブランデンブルク交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ、兵庫芸術文化センター管弦楽団など。オペラ、バレエ、ミュージカルの分野でも活躍。新国立劇場、二期会、東京室内歌劇場、東響コーラスでは公演により副指揮者、合唱指揮者を務める。

テレビ・ドラマ「新春スペシャル・のだめカンタービレ」においては指揮指導を、映画「のだめカンタービレ・最終楽章」では、それに加え千秋真一役のピアノ演奏手元吹き替えを務めた。セントラル愛知交響楽団指揮者。武蔵野学園音楽大学、名古屋市立菊里高校音楽科非常勤講師。

本公演は、当団のホームページ (www.wagner-ob.jp) にご案内を掲載し、ご招待のお知らせを行います。

※就学前のお子様の客席へのご入場はご遠慮いただいております。